

患者様 注意事項

検査内容

鼻もしくは口から内視鏡を挿入し、食道-胃-十二指腸にかけて直接観察/評価します。
予約時に経鼻もしくは経口内視鏡どちらか選択可能ですが、経鼻内視鏡の場合は原則鎮静剤の使用はできませんのでご了承ください。

検査当日来院の流れ

- ① 受付後まずは消化器内科外来を受診していただき、症状や問診内容の確認を行います。
- ② 内視鏡室にて胃の中の泡や粘液を洗い流すお薬(消泡剤)を飲んでいただきます。
- ③ ベッドに横になっていただき、喉の麻酔スプレーやマウスピースの装着を行います。
希望者には鎮静剤の注射を行います。
- ④ 内視鏡検査を行います(通常5-10分程度)。
- ⑤ 検査終了後鎮静剤使用者は約1時間の安静の後、検査医より結果説明があります。
結果次第で追加検査や次回の診察予約などが行われる場合があります。
- ⑥ 会計後ご帰宅いただきます。

検査費用の目安

内視鏡検査のみ：およそ●円

内視鏡検査時に組織検査を行った場合：およそ●円

検査によって起こり得る合併症

- ・使用する薬剤によるアレルギーや副作用
- ・挿入や処置に伴う出血
- ・内視鏡による消化管穿孔
- ・現在治療中の病気(脳梗塞、心筋梗塞、動脈瘤など)の悪化 など

※重篤な併発症(穿孔、大量出血、ショック)の発生率は約0.007%(10万人に7人)とされています。

注意事項

- ・ 検査前日20時までに夕食をお済ませください。 それ以降検査終了後指示あるまでは絶食となります。
- ・ 水分摂取に関しては当日検査1時間前までは水、お茶であれば可能です。ただし、コーヒーなど色の濃いものや牛乳などの乳製品はお控えください。
- ・ 朝、服用する薬がある方は朝7時までに内服されてください。
ただし、糖尿病薬については検査当日のみ中止していただくようお願いいたします。
- ・ 検査時に鎮静剤の注射をご希望される方は、車や自転車での来院はお控えください。
また、鎮静剤使用後の影響（眠気、判断力の低下など）は終日持続しますので、ご高齢の方はご家族に付き添っていただくのが望ましく、検査当日の車や自転車の運転、飲酒はお控えください。
また、検査時心疾患（狭心症など）や（閉塞隅角）緑内障のある患者様については鎮静剤が使用できませんので、事前に申告していただきますようお願いいたします。病名についてご不明な方は事前にかかりつけ医へご確認ください。
検査前に検査医が不適（極端な低血圧など）と判断された場合には鎮静剤の使用を控えさせていただきます場合があります。
- ・ ご希望の方には鼻からの内視鏡（経鼻内視鏡検査）を選択していただくことも可能ですが、経鼻内視鏡検査の場合には鎮静剤の使用はできませんのでご了承ください。
鼻の中（鼻腔内）が狭い場合などには検査不適として口からの内視鏡となる場合もあります。また、経鼻内視鏡後は鼻出血が起こる可能性があります（血液サラサラにする薬剤（抗血栓薬、抗血小板薬）を内服されている患者様については鼻出血が発生する危険性が高く、経鼻内視鏡は控えさせていただきます）。
- ・ 検査時には眼鏡や義歯は外しておくようお願いいたします。
- ・ 検査中の唾液や検査に使用する色素で衣類の肩口などが汚れてしまう場合がありますので、ご了承の上で検査を受けやすい衣類を着用して来院されてください。
- ・ 検査直前に行う咽頭麻酔の影響で喉の痺れ、違和感がしばらく持続します。
検査後1時間程度経過して喉の症状が落ち着いてから飲食されるようお願いいたします。
- ・ 検査予約時に記載していただく問診表については可能な限り具体的に記載していただきますようお願いいたします。不備がある場合などには当日検査困難となってしまう場合がありますのでご了承ください。
- ・ 緊急処置などの影響で検査の順番が前後する場合があります。
- ・ 検査結果次第で複数回の検査が必要となる場合があります。
- ・ 来院時発熱や咳症状が目立つ方については、院内規定に則り先にコロナ検査を優先して行い、陰性確認後の検査となります。